

## ＜アイディア紹介＞

### 児童手帳「梅の香り」の作成と活用

いわき市立平第二小学校

(生徒指導部) 教諭 井上 忠夫

#### 1. はじめに

わが校にも、現在社会問題となっている非行の低年齢化、登校拒否、家庭内暴力等の兆しが表われはじめたのは、数年前からであった。

生徒指導部では、指導体制の強化だけでなく、児童の内面にせまり、学校と家庭との連絡協調を密にして児童理解を強化し、子どものゆめや希望を大事にしながら、向上心や自主性を育てようねらいを定め、児童手帳「梅の香り」を作成し、全校をあげて、その活用を推進してきた。

#### 2. 「梅の香り」のあらまし

児童手帳「梅の香り」は、全体が「ピンク版」と「とじこみカード」の2部分から成り、1冊のファイルに綴る形式にした。

(1)、ピンク版「梅の香り」 (全9頁)

- ①、本校の教育目標と具体目標
- ②、「わたしのゆめ」の欄……児童記入
- ③、「わたしのめあて」と反省の欄 (学期ごと)
  - ・ゆめを実現させるめあてと反省……児童記入
- ④、家庭生活のしおり……家庭の習慣形成資料
- ⑤、学校生活のしおり……校内の習慣形成資料
- ⑥、毎月のめあてと反省の欄……児童記入
  - ・③を具体化しためあて。毎日、児童が、実行可能で、自己評価 (○, ×) できるめあてにさせる。
- ⑦、家の人のことばの欄……父母が子どもへ書く。
- (2)、とじこみカード
- ①、学習の記録

授業で学習したことを記入させる。学習内容で理解できなかったこと、もっと知りたいこと疑問に思ったこと、教師の指導への意見、感想や要求など、児童の創意を生かして記入させる。

#### ②、じゅんぴ、れんらく

翌日の学習準備物や諸調査物等を忘れないように記入させる。

また、担任と父母との連絡の欄として利用する。

#### ③、日記

生活日記を自由に記入させる。

今日一日で、いちばんたのしかったこと、うれしかったこと、がまんできなかつたこと、感心したこと、そのとき話せないでいたこと、先生にお話したい、聞いてもらいたいことなど。

#### ④、めあての反省

「毎月のめあて」を毎日反省させ、○×で自己評価させる。これをもとにして、毎月のめあてを反省させる。

児童手帳「梅の香り」は、児童に毎日記入、提出させ、担任の検閲・指導を受けるようにした。

#### 3. 実践して

##### (1)、父母の立場から

学校の教育のめあてや方法、子どものゆめや生活のしかたがわかり、家庭内の対話が、より具体的になった。また、日記を通して、親と子が、わかり合えた。しかし、「めあて」の設定や「家の人のことば」等、負担を感じている。

##### (2)、教師の立場から

児童理解が、深まった。日記に書き込みをしてやることにより、児童とのレポート作りに役立つ。問題傾向を持つ児童に対する指導に役立つ。しかし、検閲・指導する時間の確保が、困難。

##### (3)、児童の立場から

先生に、自分のことが、わかってもらえる。書き続けることに、喜びを感じる。生涯の記録・記念になる。しかし、たとえ、母親であっても、他人に自分の内面を知られたくないときがある。

#### 4. おわりに

「梅の香り」の提案をしたときは、児童の非行という危機感から、容易に受け入れられ、実践化できた。

数ヶ月の後、はじめにあげた生徒指導部のねらいは、ある程度、解決された。事実、生徒指導部で特別指導をする例が、激減した。

しかし、実践がすすむにつれて、当然のことであるが、児童手帳それ自体は、あくまでも、てだてであることが、わかってきた。この点、共通理解にあまさがあった。

今後は、形式等にとらわれて、生徒指導本来の姿を見失うことのないように、教師、学級、学年の実態に応じた活用を図っていきたい。